



第10号
平成23年
10月20日

発行元
北陸農政局
柏崎周辺農業水利事業所
柏崎市南半田18番15号
TEL:0257-24-5731
バックナンバーはこちら
<http://www.maff.go.jp/hokuriku/ko-kuei/kashiwa/index.html>

工事の進捗状況



付替市道その2建設工事
【佐藤工業株】
ダム湖に接する道路区間の側壁と盛土がほぼ完成しました。既設の市道柏崎21・132号線から間近に見ることが出来ます。

2号橋梁上部工その2工事
【丸高建設株】
アーチ橋周辺の側壁と盛土を終え、鵜川横断箇所ので壁面コンクリートを施工しています。

職員あいさつ



技術次長
石川 雅一

新任

付帯用水路他その3工事
【株植木組】
ダムから下流の受益地へ導水する為のパイプラインを埋設し、既設の用水路、水道等を更新します。(11月から工事を開始し、12月下旬に完了予定です。)

1号橋梁下部工他工事
【丸高建設株】
付替市道で鵜川を横断する橋梁(左右岸の橋台部分)を設置し、地元の第2沈砂池を改修します。(10月から工事を開始し、来年3月下旬に完了予定です。)

では、地権者、周辺集落等の地元の皆様のご理解、ご協力が何より重要であり、地元の皆様に対し十分に工事内容等の説明を行うとともに皆様のご意見、ご要望を把握していきたいと思えます。市野新田ダム工事等、国営事業の円滑な推進、早期完了に向け全力を尽くし取り組んでいきますので、宜しくお願いします。

環境保全委員会を開催(8月)

当日の委員会では、10月以降に予定している、ダム貯水池内からの貴重植物の移植に向けて、移植地となる綾子舞会館前の池の整備内容及び移植計画について議論しました。委員会では、各委員から様々なご意見・ご指摘を頂き、整備計画を一部改善しました。今後、地域の皆様のご意見を踏まえ、進めて参ります。



市野新田ダム建設予定地周辺における貴重動植物の保全方法等の検討を行うため、昨年度に引き続き、8月30日に有識者、地元代表者、柏崎市担当者及び当事業所長を委員とした環境保全委員会を綾子舞会館で開催しました。

埋蔵文化財の調査結果(9月)

7月からダム貯水池内で行ってきた天皇峰遺跡の発掘調査が、9月末で終わりました。戦国時代の柱穴や溝跡と遺物が発見され、1家族の住居跡であったと考えられます。また、約500年前のものと思われる能登半島で焼かれた珠洲焼のすり鉢(写真)などが出土しています。

今後、出土品は県へ文化財申請の後、柏崎市へ譲渡してもらい遺跡考古館で保管されます。遺跡は図面や写真に記録し、来年度に報告書を刊行する予定です。



収用委員会による現地調査(10月)

市野新田ダムの未取得用地に係る土地収用法に基づく手続きは、5月31日の事業認定告示、9月1日の裁決手続開始の決定の後、10月13日に新潟県収用委員会による現地調査が実施されました。当日は、事業所において事業概要等を説明した後、現地へ移動し収用対象地及び補償物件に関し中立的な立場で調査が実施されました。今後は、平成24年度のダム本体着工を確実なものとするため、年度内に権利取得ができるよう関係機関と足並みを揃えて手続きを進めて参ります。

農業まつりにブース出展

10月22日(土)に開催される柏崎農業まつりにブースを出展します。今年が目玉はこちら

「柏崎周辺農業水利事業マップ」



約一畳のマップに、立体模型の各施設、地域の特産や見所を配置。職員手作りの作品をぜひご覧下さい。なお、このマップは今後のイベントの際に活用していく予定です。

出前授業・モニタリング調査実施

9月21日に西山町の内郷小学校にて出前授業を実施し、稲作における水の大切さや後谷ダムの役割、環境保全について講義しました。

また、10月12日には、小学生とともに後谷ダム保全エリア周辺にて貴重動植物のモニタリング調査を実施し、後谷ダム建設時に移植した動植物の生息状況を確認しました。

見学会や出前授業のご要望については、お気軽に事業所までお問い合わせ下さい。

